

【金沢区】令和5年第3回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和5年9月4日 13時00分～15時00分
場 所	金沢区役所 5階1号会議室
出席者	<p>【議員：5名】高橋 のりみ議員（座長）、 谷田部 孝一議員、黒川 勝 議員、 竹野内 猛 議員、坂井 太 議員</p> <p>【金沢区：30名】永井 京子 区長、小林 悦夫 副区長、 船山 和志 福祉保健センター長、 中山 陽子 福祉保健センター担当部長、 加藤 暢一 金沢土木事務所長、 間正 勝司 金沢消防署長 ほか関係職員</p> <p>【環境創造局：2名】櫻井 暁人 担当課長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度 個性ある区づくり推進費 決算について 2 令和5年度 個性ある区づくり推進費 執行状況について 3 令和6年度 金沢区予算編成の考え方について 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 小柴自然公園第1期エリアの開園について（環境創造局） (2) 金沢区内 火災・救急状況等【8月】について（金沢消防署）
発言の 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 議題（令和4年度 個性ある区づくり推進費 決算について） 2 議題（令和5年度 個性ある区づくり推進費 執行状況について） <p>竹野内議員：金沢まつり花火大会について、先ほど25万5千人が鑑賞に訪れたと報告があったが、全国各地では花火大会をめぐるトラブルなども散見されている。金沢区の花火大会ではなにか問題はなかったか。</p> <p>永井区長：大きな事故やけが等は報告されていないが、周辺道路の混雑や騒音等についていくつかご意見をいただいた。また、現在、花火大会の運営従事者にアンケートを取り、運営面の意見を集約している。実行委員会の事務局を担う区としても、集まった意見を確認し、次年度に向けて運営</p>

面の改善を行っていくと共に、花火大会の実施について地域の理解が得られるよう、今後も丁寧に情報提供を行っていく。

竹野内議員：金沢防災“えん”づくり事業に関連して、今年の9月1日は関東大震災からちょうど100年目の節目にあたるが、首都直下型地震の危険が切迫していると言われていたことに加え、近年風水害も激甚化しており、さらなる防災減災対策を、スピード感をもって推進していかなければならない。10月14日に予定している並木中学校における訓練見学会では地域防災拠点へのペット同行避難訓練の見学会が企画されていると伺っている。皆様の関心の高いテーマでもあり、有意義な取組だと思っている。どのような経緯で今回の訓練見学会が企画されたのか。

姫浦総務課長：令和3年度に地域防災拠点運営委員に実施したアンケートで、他の拠点の訓練を見学したいとの声が多かったため、令和4年度から訓練見学会を実施している。令和5年度の見学会の企画にあたり、運営委員と協議したところ、拠点ごとにペット同行避難者の受け入れ準備に関する進捗に差異があることが課題として挙げられた。そこで、ペット同行避難者受け入れ手順の確認、訓練の実施拠点の拡大を目的とし、訓練見学会のテーマとした。

竹野内議員：今年度、私が委員長を務める減災対策推進特別委員会では、いわゆる災害弱者を守る取り組みの充実をテーマに研究を進めており、横浜市における個別避難計画の策定加速が一つの課題である。障害当事者の参加する避難訓練を実施して、具体的な課題を把握していく事が大切。次回以降は、障害当事者の参加する防災訓練の見学会も企画して頂きたいと思うが、いかがか。

姫浦総務課長：金沢区では、現在「避難場所等における障害者の支援について」をテーマに、障害福祉サービス事業所職員や障害のある方のご家族が講師となり、寸劇などを使って地域防災拠点での支援方法などを伝える出前講座を実施している。地域防災拠点における障害のある方の受け入れに関する具体的な課題の把握については、重要なことと考えている。今後、地域防災拠点連絡協議会役員の意見を伺いながら、訓練の見学会について検討していく。

竹野内議員：新たに設置された「こども家庭総合支援拠点」について、設置による成果と課題について伺いたい。

渡部こども家庭支援課長：成果の一つ目は、児童虐待対応を担う「こどもの権利擁護担当」設置により、関係機関との連携や情報共有が充実し、関係機関の通告意識が向上したこと。新規虐待通告件数は、令和3年度の131件に比して、令和4年度は182件となった。

成果の二つ目は、個別ケースの支援方針を組織的に協議する「こども家庭支援カンファレンス」の導入。普段から支援関係を築いているこども家庭支援担当の保健士、社会福祉士と、虐待対応にあたるこどもの権利擁護担当が、障害児や母子保健の支援方針を組織的に協議することで、ケースごとにきめ細やかな支援方針が立てられるようになった。

課題については、これを課題とはとらえていないが、虐待ではないこどもの泣き声通報が入ることがある。虐待の早期発見のため、通報はやむを得ないものと考えているが、調査等が必要となり、職員が動いている。虐待対応という点では、令和元年の児童虐待防止法の改正で法制化された体罰の禁止が、区民に定着されていないことが挙げられる。広報よこはまや区民まつりなど様々な手法や機会をとらえ、広報や啓発活動を繰り返し行っていく必要があると考えている。

竹野内議員：虐待ではないこどもの泣き声通報は、先ほど131件から182件に増えたという虐待通告件数に含まれているのか。

渡部こども家庭支援課長：含まれている。

竹野内議員：虐待ではないこどもの泣き声通報が増えるというのは、そのぶん確認作業が増え、職員は大変かもしれないが、虐待を未然に防いでいくという部分では前向きな変化だと思う。様々な連携も進んでいるということで、頼もしく思う。引き続き、子育ての孤立と虐待などの防止へ、力を尽くして頂きたい。

次に、区民文化センターの設計・仕様について伺いたい。昨年度基本構想検討委員会では、金沢区の特性に合った区民文化センターの規模や機能、運営の方向性などについて、4回にわたり議論を行い、その中で「区内で

不足しているギャラリーや小規模な発表ができる諸室が必要」、「区内外の施設と多様な連携をしてほしい」、「新たな交流が進むよう街に開かれた気軽に立ち寄れる雰囲気大切」といった意見があったと伺っている。今年度は、策定した基本構想を踏まえて基本設計を進めることとなり、これから設計事業者が決まると伺っているが、細かな仕様についても、利用者となる各関係団体から意見を伺い、反映されるよう、丁寧に進めて頂きたい。

大屋区政推進課長：区民文化センターの整備に向けては、昨年度、施設に望む機能についての市民意見募集を行った。その結果も踏まえながら、有識者・地元関係者等で構成された基本構想検討委員会で、施設の基本的な方向性や各諸室における配慮事項等を議論していただいた。この基本構想検討委員会からの答申に基づき、令和5年1月に基本構想を策定した。今後、この基本構想を踏まえて、にぎわいスポーツ文化局及び建築局が施設整備を進めていくが、いただいたご意見については各局とも情報共有していく。

黒川議員：金沢まつり花火大会について、終わってからの混雑で危険を感じたという意見を消防団の方々から聞いた。なにか情報があれば教えてほしい。

米山地域振興課長：混雑を含め、危険を伴う状態になったという報告は受けていないが、確かに花火終了から公園を出るにあたっての混雑はあったので、警備会社や実行委員会の配置したスタッフにより誘導を行った。車道については規制をかけ、歩行者天国と同じような状態にしたので、ゆとりを持って安全に歩けたのではないかと思います。公園から出る際の、段差や狭い通路については特に気を付けて人員を割り、安全管理にあたった。

黒川議員：まつかぜ公園が自転車置き場になっていて、まつかぜ公園にバイクや自転車で来た方は、帰りには周りの道路に規制がかかっているため押して帰らなければならない、規制を守らない人もいたと聞いた。そのまま自転車に乗って帰れる場所に自転車置き場があった方が良くはないかという意見を頂いたが、いかがか。

米山地域振興課長：広い範囲に車両規制を行うため、自転車等に乗ってき

た方が終わってすぐに乗って帰るとするのは困難ではあると思うが、今回、柴町にも自転車置き場を設定していて、柴町はちょっと出れば規制範囲を外れる。全てクリアは難しいと思うが、工夫しながら考えたい。

黒川議員：LINKAI 横浜金沢推進事業について、企業PR冊子は6,000部作成し、学生向けに配ってもらったのだと思うが、取材を希望する企業を増やすためにも、企業にも冊子を配布するとよいのではないか。

大屋区政推進課長：LINKAI 横浜金沢のPR冊子は、区内にある関東学院大学と横浜市立大学の大学生が、同世代である大学生向けに企業の紹介を行うという趣旨で作成し、6,000部を印刷し、両大学で4,000部配布している。また、企業にも組合等を通じて冊子を配布している。この取組がさらに多くの方や企業の皆様の目に触れ、LINKAI 横浜金沢の魅力が伝わるよう今後も取り組んでいく。

黒川議員：テクニカルショウヨコハマを見に行った際、都筑区は、都筑区全体でどんなことをしているのか分かるような見せ方をしていたが、金沢区は、各企業それぞれのブースのみだった。企業ごとのブースにプラスしてLINKAI 横浜金沢全体をPRするような見せ方があるといいと思うが、いかがか。

大屋区政推進課長：テクニカルショウヨコハマについては、経済局から予算をもらってLINKAIの企業と一緒に参加していて、テクニカルショウのなかの横浜ものづくりゾーンにLINKAIとして出展した。都筑区や港北区も出展していたが、都筑区は目立っていたと聞いている。出展するからには目立って多くの方にブースに訪れていただくことが企業の活性化につながると思うので、LINKAIの企業とも相談して、取組を検討していきたい。

黒川議員：金沢区の観光協会の拠点は、もっと駅前などの良い場所に立地していると、金沢区を訪れた人が利用しやすいのではないかというご意見を頂いたが、いかがか。

米山地域振興課長：観光協会のオフィスや案内のスペースについては、金沢八景駅前の再開発が行われている時から、いくつかの検討や交渉があっ

たが上手くいかなかった。ただ、昨年からの大河ドラマの流れで注目が集まったこともあるし、観光施設を多く抱える金沢区として、情報発信の仕方については、もう少しなんとかしていかなければならないという認識はある。床面を広く確保するのは難しいと思うが、有人ではなく無人の案内も含めて、昨今はいろいろな方法がでてきているので、情報発信の仕方について検討してまいりたい。

黒川議員：金沢八景駅前の警察官立寄所を観光協会の観光案内所と兼ねれば、トラブル対応も観光案内もそこでできて良いという話も出ていた。将来的には駅の近くにできる区民文化センターの一角を借りても良いし、先ほど言われたような無人の観光案内モニターを設置するのも良いと思う。検討してほしい。

米山地域振興課長：昨年度策定した区民文化センターの基本構想には、観光情報等の発信機能も盛り込んでいる。

黒川議員：よろしく願います。

15 ページのクリーンタウン推進事業で、区内大学新生向け啓発として5月にパンフレットを配布したとある。新生にごみの捨て方を知ってもらうのは大事なことだと思っているが、最初が肝心なので、5月ではなく4月の早い時期に配付してもらった方が良いのではないかと。あと、不動産業の人達にも、新生が来たらパンフレットを渡してもらったりごみの捨て方を説明してもらったりなど、協力してもらおうと良いのではないかと。

稲川資源化推進担当課長：まず学生への啓発の時期について、大学と相談のうえで配布時期を決定したが、区としてはできれば4月当初から啓発した方が効果は高いと考えているので、今後大学とも協議して、できるだけ早い時期に啓発できるように進めていきたい。不動産会社との協力については、協力してもらえればありがたいと思っているので、相談のうえで、できるだけ実施の方向で調整を進めたい。区役所では転入の際にごみの分け方出し方についてのリーフレットを配布している。特に大学生に向けてということであれば、スマートフォンの分別アプリについて周知を図った方が効果が高いと思うので、そういったことも含めて検討していきたい。

黒川議員：キャンパスタウン金沢サポート事業補助金について、補助金を交付してその後どうなったのかという結果を区のホームページに掲載してほしい。補助金の使い道についての区民のチェックにもつながるし、補助金の交付を受けた人の励みにもなる。区役所のホームページを見ると、事業実施のお知らせは充実していると思うが、実施の結果報告が少ないと感じる。

渡邊地域力推進担当課長：キャンパスタウン金沢サポート事業補助金の交付団体には、毎年、「地域づくり金沢フォーラム」で活動を報告してもらっている。昨年度は、令和5年3月14日に関東学院大学で行った。その様子は、開催報告として区のホームページに掲載しているが、キャンパスタウン金沢サポート事業補助金のページではなく、地域づくり金沢フォーラムのページに掲載していて、少し分かりづらいので、キャンパスタウン金沢サポート事業補助金のページからも結果が掲載されているページが分かるような案内をしたい。

3 令和6年度 金沢区予算編成の考え方について

坂井議員：個性ある区づくり推進費のなかで良い事業を行えば、では毎年やろうということになり、その割合が増えていけば予算は硬直化し、予算編成の自由度は下がるのではないか。全く新しい事業を始めようと思った場合には、どのくらい予算は捻出できるものか。局に予算の追加要求をする必要はないのか。

姫浦総務課長：いくらと金額は決めていないが、常に既存の事業を見直し、重要な事業を伸ばし、新しい事業に取り組むということを心掛けている。

永井区長：個性ある区づくり推進費のなかに、区が自由に編成できる自主企画事業費が各区1億円前後ある。そのなかで、例えば令和5年度は区民意識調査というものを行っているが、毎年行うものではないので、令和6年度はその費用は必要がない。隔年で行う事業もあれば、区ではなく局の予算で行うことになる事業もある。区では毎年同じ事業を同じように行っているわけではなく、精査をしている。新しく、若手職員にアイデアを出してもらってやってみるということも大事だと思っている。全体の予算額

は大きく変わらないかもしれないが、そのなかで事業のスクラップアンドビルドを行い、効果検証をして継続するかどうかの判断をしていくことも私の役目だと思っている。

黒川議員：新型コロナウイルスが2類から5類に変わったことによる予算編成への影響や、金沢区の最大の課題である人口減少に対する対策などについて、もう少し言及すると良いのではないか。人口減少対策とは何かというと、ここに書いてある全てがそこにつながるのだろうと思うが、誰もが住みたい、住み続けたいまちになれば人口も増えていく。みんなで頑張っって人口減少に歯止めをかけていこうという思いが伝わってこない気がする。是非頑張っっていただきたいというエールも含めて一言申し上げさせていただいた。

永井区長：人口減少対策を区独自で進めるのは難しいが、横浜市として、全市でプロモーションをしていく。本市の中期計画の中にも子育て支援がある。区としても、子育て世帯の転入を促すためにも、子ども子育て対策の充実を図っていく。今年度区民意識調査も行ったので、不足があれば力を入れていきたい。市の市民意識調査では、子育て世帯に足りないものはお金と余裕というような回答があった。区役所でお金の補填は難しいが、子育てしている方が心の余裕を持てるような事業を区づくり推進費のなかで打ち出せれば、区の魅力につながると考えている。子育て支援拠点「とことこ」をはじめ、金沢区の関係団体の方が地域まで出向いて話を聞いたりにしてくれているので、そういう団体とも連携しつつ子育て対策をしていきたい。

黒川議員：いろいろな方とお話していると、金沢区は海も山も水族館も動物園もあり、公園もたくさんあって、これほど環境が良いのになぜ人口が減っているのかと言われる。他区の議員からも、金沢区がうらやましいと言われるほど素晴らしい環境なのに、それでも人口が減少しているというのは、過渡期という部分はあると思う。今後、若い世代に引っ越してきてもらい、住み続けてもらえるような、また、子育て支援拠点「とことこ」をはじめとした関係団体の方達にも頑張ってもらって、2人目、3人目を産み育てたくなるようなまちづくりを進めていけば、今は人口減少局面になっているけれども、未来は悲観したものでもないのではないかと思っ

いるので、そういうところを予算編成の考え方にも表現してもらえると嬉しい。

高橋議員：若手職員のアイデアという言葉が区長から出るのは嬉しい。ヨコハマ市民まち普請という事業があって、市議員になる前に応募した。その時に、あの事業を提案したという職員がいて、目をキラキラさせて話していた。若手職員がアイデアを出すというのは良い機会だと思うので、区長に吸い上げてほしい。

あと全体的な話で、私は大都市の特別委員会に入っていて、特別自治市に関して課題だと思っているが、特別自治市に関する周知が足りていないと感じる。教育委員会の副本には特別自治市に関する記載があるらしいが、区も、もう少し主体的に特別自治市に関して区民に知らせることが大事だと思う。子ども達、特に中学生くらいの子達にしっかり教えたら、特別自治市について理解してもらえるとと思うので、是非そういった世代に特別自治市について伝える役目を区が担ってもらえると嬉しい。

下の重点取組に、虐待について記載があるが、子どもが虐待から逃れるために家出をし、犯罪に手を染めてしまうケースがある。虐待を食い止めなければ、その後さらに状況が悪化するということを目の当たりにしたので、虐待対応は大変だと思うが、踏み込んでいって子どもを助けてほしい。あと高齢者に関して、今年夏休みにEスポーツの大会を市役所で開催した。障害者、小学生、高齢者など、様々な方が参加して盛り上がった。Eスポーツを通しての生涯学習も面白いと思う。富岡の並木地域ケアプラザで、高齢者向けに太鼓の達人というゲームを取り入れている。そういったものを積極的に区が後押しして広められると認知症予防にもなるし、意外と話が弾んで交流も生まれる。デイサービスで歌を歌ったり折り紙を折ったりも良いが、今の時代、Eスポーツという選択肢もあると良いと思う。

あと、今、金沢区の商店街に活気があり、先週の土曜日も富岡の商店街で夜のバーベキューを行って賑わっていた。商店街の活性化について、区には引き続き頑張ってもらいたい。

最後に、休日診療所の建て替えについて、まだ区内の話ではあるが、障害者の歯科診療に意欲があるようなので、是非区は三師会の方々と話し合いながら休日診療所の建て替えを進めてほしい。

永井区長：各関係局とも調整しつつできるところからやっていきたい。特

別自治市に関しては、今年1月に区連会で市長から説明して、今年12月に自治会町内会向けに研修会をやる予定。区民に理解を深めてもらうことが重要と考えている。局とも連携して様々な機会をとらえて特別自治市について発信していきたい。学校の教育について、直接区が学校に要望するという事は難しいので、政策局の特別自治市担当に、教育関係の方にもアプローチしてもらいたいと伝えていく。

谷田部議員：人口減少対策や若者の就労支援は、短期的にできることではないが、重要。金沢区は魅力があるが住めない、住む場所がないというのは、我々議員も含め、施策のなかで真面目に取り組むべき問題。富岡倉庫地区とそれに隣接する国家公務員住宅の再開発などが進めば、子育て支援や人口減少対策につながるのではないか。区の話ではない部分もあるが、意見を聞きたい。

永井区長：三菱重工社宅跡地には、集合住宅が予定されているので、そこについては人口増につながると思うが、金沢区にはあまり大規模なマンションや住宅地の開発が無いので、一度に大きく人口増ということはなかなか難しい。今ある住宅に若い世代が入ってきてもらう必要がある。そのためにも、若者のニーズを探り、より魅力あるまちにしていき、かつ金沢区の魅力を発信していきたい。

4 その他

(1) 小柴自然公園第1期エリアの開園について（環境創造局）

黒川議員：資料を見て、小柴自然公園には日陰が少ないと感じる。植栽が大きくなってくれば日陰もできてくると思うが、9月に開園して、まだ気温が30度近い日があるなか日陰が少ないと、せつかく来園した方が暑すぎてすぐに帰る、2度と来ないということになりかねない。園内のタワーからテントのようなものを出して日陰を作るなど、なにか工夫が必要なのではないか。これが1点。2点目、多目的広場については、もともとソフトボール協会の会長を長いこと務めていた国吉県会議員と一緒に横浜市に署名を持って行って、その結果多目的広場にソフトボールができるスペースができたと聞いている。地域の方を中心に運営協議会ができて、利用調整をすると聞いているが、そういった経緯も環境創造

局から地域の方に説明していただいたうえで、上手に調整を図ってほしい。ソフトボール協会の皆様も、必ず全ての大会をここで行うというわけではなく、地域の皆様とうまくやっていきたいと考えているという話も聞いているので、是非環境創造局が間に立っていただきたい。最後に、第2期工事、第3期工事と先の話となるのだが、最初の市民意見募集から10年以上たっていて、その間に東京オリンピックもあり、スケートボードやボルダリング、BMXなどの新しいスポーツが流行ってきている。傾斜や崖地を利用して楽しめる新しいスポーツがどんどんできているので、新たな意見もあるはず。第2期工事や第3期工事に向けて、できる範囲で、改めて市民意見募集を行ってほしいと思うが、いかがか。

櫻井担当課長：まず1点目の暑さ対策について、開園式当日はドライミストの遊具広場への設置を予定している。状況を見て有効であれば、エリアは限られるが来年度以降追加工事で設置していきたい。テントの設置に関しては、公園遊具には周囲と距離をとらねばならない安全基準があり、難しい。なるべく日陰になるようなパーゴラを設置している。一面の写真左手前に、小さめのパーゴラを4つ設置している。最初は大きいパーゴラを設置しようかと考えたが、他の人の近くだとゆっくりできない障害のあるお子さんがいて、小さくなってしまっても複数設置していただくと助かる、そういう工夫をしてほしいというご意見を取り入れた結果、小さいパーゴラを設置している。遊具広場から離れたところには大きめのパーゴラもある。2ページ目の図面上部の、かぎ型に赤い枠が回っている部分には、レストハウスを作る予定。今はまだ中に機械が残っているが、ポンプ室の骨組みをいかして、地域の方や公園利用の方に涼んでいただけるようなスペースも考えている。2点目の多目的広場については、管理運営委員会の協力により、だいたい管理の準備が整った。10月に利用者向け説明会をする予定で、チラシを刷って先週金曜日に配布し始めた。説明会后、ホームページにもその資料を掲載するなどして、募集を開始し、11月以降に利用が開始となる予定。環境創造局は管理運営委員会だけでなくソフトボール協会にも何度も説明に伺っている。管理運営委員会の中にはソフトボール協会関係の方もいて、調整はうまくいっていると考えている。ソフトボール協会の会長からは、様々な意見が出てくると思うが、窓口は会長がやるので通してもらえればい

いとお話をいただいている。3番目の第2期、第3期エリアについては、おっしゃるとおり、かなり前の市民意見ということもあるので、この第1期エリア開園後、どう設計していくか見直しを行っていく予定。地域の方などのご意見を伺いながらニュースポーツについても検討できたらいいと思っている。まだ具体的な進め方は決まっていないが、着実にやっていきたい。

4 その他

(2) 金沢区内 火災・救急状況等【8月】について（金沢消防署）

竹野内議員：救急の状況について、熱中症や高齢化により急病や一般負傷が最多を更新というのは理解したが、交通事故の件数も増加しているのが気になる。事故の状況、場所、年代等について伺いたい。

増山副署長：後日お示しする。

黒川議員：富岡東二丁目の3件の放火は、テレビのニュースでも報道されていた駐車場のものだと思うが、六浦東1丁目の放火は分からない。これはもう犯人が捕まって解決しているということによろしいか。

増山副署長：犯人は捕まっていると聞いている。

黒川議員：警察とも連携して、こういう事件事故のないようにパトロール等強化してほしい。よろしくお願いします。

備 考